

科目名	コンサートプロダクト2							年度	2026
英語科目名	Concert Product 2							学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 コンサートPAコース 1年次	必/選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	中里哲也		教員の実務経験		有	実務経験の職種		舞台音響	

【科目の目的】

実習を通してコンサートPAスタッフとしての業務の内容を理解する。また、デジタルコンソールをはじめライブ実施に向け機材、セッティングを学び計画通りセッティングチェックができるようにする。コンサートPAスタッフとしての基礎的なスキルとコミュニケーション能力を身につけることを目的とする、

【科目の概要】

<コンサートPAコース>
簡単な機材セッティング・マイクの取り扱いなど、基礎技術を習得します。

【到達目標】

- デジタルコンソールを理解しセッティング音出しができる
- モニターシステムとしてデジタルコンソールをセッティング音出しができる
- マイクロホンの特性を理解しマイクアレンジができる
- 片柳記念ホール実習ライブを実施計画通りに開催できる
- 修了公演を実施計画通りに開催できる

【授業の注意点】

学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	デジタルコンソールを理解し、セッティングオペレートができる		デジタルコンソールを理解している		デジタルコンソールの理解が乏しい
到達目標 B	モニターシステムとしてのデジタルコンソールを理解し、オペレートができる		モニターシステムとしてのデジタルコンソールを理解している		モニターシステムとしてのデジタルコンソールの理解が乏しい
到達目標 C	マイクロホンを特性を理解しセッティングすることができる		マイクロホンを楽器に向けてセッティングすることができる		マイクロホンをセッティングすることができない
到達目標 D	片柳記念ホール実習ライブを実施計画通りに開催できる		片柳記念ホール実習ライブの開催ができる		片柳記念ホール実習ライブ開催中のトラブルやイレギュラー対応ができない
到達目標 E	修了公演を実施計画通りに開催できる		修了公演の開催ができる		修了公演開催中のトラブルやイレギュラー対応ができない

【教科書】

資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

- * グレードテストを定期的に行う。
- * 授業内容の理解度を確認するために実施する。
- * 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		コンサートプロダクト2			年度	2026
英語表記		Concert Product 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	PAシステム	デジタルコンソール	1 M7CL	M7CLの使い方PM3500との違い	2	
			2 M7CL	MIXの使い方		
			3 EAW1/3/4システム	音楽ライブ対応フルシステムの構築		
2	PAシステム	EAW1/3/4システム	1 M7CL	OMNIOutパッチ	2	
			2 M7CL	MatrixとGEQインサート		
			3 EAW1/3/4システム	LAKEプロセッサの仕組みを理解する		
3	PAシステム	デジタルコンソール	1 M7CL	MatrixとGEQインサート	2	
			2 M7CL	シーンメモリー		
			3 EAW1/3/4システム	アウトマルチの必要性を理解する		
4	PAシステム	マイクの種類とプランニング	1 マイクの種類と特性	マイクの種類と特性を理解する	2	
			2 プランニング	バンド資料を基にチャンネルプランニングをする		
			3 ホール	プランを基にホールでのセッティングをする		
5	PAシステム	セッティング実習	1 MICアレンジ	マイクのセッティングによって音の違いを理解する	2	
			2 MICセッティング	プランを基にマイクセッティングをする		
			3 ホール	プランを基にホールでのセッティングをする		
6	PAシステム	セッティング実習	1 MICアレンジ	マイクのセッティングによって音の違いを理解する	2	
			2 MICセッティング	プランを基にマイクセッティングをする		
			3 ホール	プランを基にホールでのセッティングをする		
7	ライブ実習に向けて	実戦練習	1 プロダクションミーティング	プロダクションミーティングを基にプランの修正を行う	2	
			2 役割分担	ライブの流れに沿って担当割をする		
			3 単音練習	MTRを使用し単音練習をする		
8	ライブ実習に向けて	実戦練習	1 ミキシング実習	MTRを使用しミキシング練習をする	2	
			2 ミキシング実習	MTRを使用しモニターバランスをとる		
			3 セッティング	ホールでセッティングからインプットチェックまで行う		
9					2	
10	片柳記念ホール 実習ライブ	片柳記念ホール 実習ライブ 事前準備・開催	1 片柳記念ホール実習ライブの実実施計画に沿って本番開催	片柳記念ホール実習ライブの進捗管理の重要性を理解し実践できる 時間を意識し各セクションが協力しセッティング、チェックをし、本番ではFOH、モニターオペレーターを実践する	2	
11					2	
12	反省会イベント	実習ライブを振り返り修正、変更で今後の実習ライブ実施向上を目指す	1 事前準備	事前準備の重要性が確認できる	2	
			2 開催日	トラブルやイレギュラーな事象を適切に対応できる		
			1 申し送り	実施結果を分析し改善案を提示できる		
13					2	
14	修了公演	修了公演 事前準備・開催	1 修了公演の実実施計画に沿って本番開催	修了公演ライブの進捗管理の重要性を理解し実践できる 時間を意識し各セクションが協力しセッティング、チェックをし、本番ではFOH、モニターオペレーターを実践する	2	
15					2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等